



## 【基本情報】

事業所名	ウィズしもつま
企業理念	社会資源のひとつとして、利用者様と「一緒に」なり自立へのサポートを致します。
支援理念	お子様が「のんびり、ゆっくり」と安心・安全に将来を見据えた発達支援の提供
支援方針	<p>・ウィズしもつまは、お子様が利用される期間の中で、学校や園、自治体、その他関連機関、そして保護者様と「一緒に」なって、お子様の10年、20年、30年…と続いていく未来をより豊かなものにしていくように支援をしていきます。</p> <p>・ウィズしもつまでの活動では、特に「あそび」に対して重きを置いて提供をしております。「あそび」とは、お子さまの発達段階に合わせ、その目的やねらいを設定した上で提供することにより、お子さまが主体的に五感に刺激を受け、脳の発達を促したり、あそびから生じるルールやマナーを通して、言葉の発達やコミュニケーション支援、社会性や協調性の構築等にも適している手段となるからです。ウィズしもつまでは、保育士や児童指導員、理学療法士、看護師などの多職種で連携を図っていきながら、それぞれの専門性を生かし、様々な視点からのアプローチで日々のお子様の生活やあそびを通して、発達支援をしております。</p>
支援指針	<p>①卒園や卒業後までを保護者様と共に見据えた支援 現在の障がい児教育の関係上、ほとんどのお子様が18歳でモラトリアム期間が終了してしまいます。それは大学や専門学校等には進学せず、特別支援を受けているお子様のほとんどが高等学校卒業後には福祉就労を含め、就職の道を進む為です。その為、障がいを持つお子様はより10代のうちに自分自身が「何ができるのか?」「どんな大人になりたいのか?」などを考えていくことがより大切になっていきます。ウィズしもつまでは、園や学校から卒園、卒業した時のビジョンを保護者様、お子様自身と共に共有し、協力し合いながら支援をしていき、10年、20年、30年…とそれぞれ続いていくお子様の将来に向けた「生きるチカラ」の構築、そしてそのお子様の居場所を探す手助けをしていきます。</p> <p>②お子様一人ひとりの想いを尊重し、個々に寄り添ったオーダーメイドの支援 保護者様とのアセスメントを通し、お子様の発達や障がい特性等に応じて個別支援計画を作成し、それに伴い小集団支援(療育)や個別支援(療育)を実施していきます。小集団支援(療育)での活動を行う場合では特に、活動することそのものが目的化してしまう場合があります。「何故その活動を行うのか?」「活動を通してお子様の何を伸ばしたいのか?」を考え、お子様一人ひとりの「目的」にあった活動の提供をし、それぞれにオーダーメイドされた(発達)支援をしていきます。</p> <p>③肢体不自由のお子様が安心してのびのびと過ごせる環境の提供 平成24年度の障害者総合支援法の改正に伴い、現在多くの児童発達支援・放課後等デイサービスが開業されました。障がいをお持ちのお子様が、療育の場、第三の居場所として多くのニーズに応えられていますが、重症心身児のお子様が利用する「重症心身障害児型事業所」を除く事業所では、神経発達症(発達障害)や知的発達症(知的障害)のお子様が中心となり、肢体不自由のお子様が安心して過ごせる環境の児童発達支援・放課後等デイサービスはまだ少ない現状です。そこでウィズしもつまでは、肢体不自由教育の特別支援学校に通われているお子様を中心に、お子様やその保護者様が安心して利用できる児童発達支援・放課後等デイサービスを提供致していきます。</p>
営業時間	9時30分から17時30分
送迎実施の有無	あり

## 【支援内容】

### ・本人支援の5領域

発達支援とは、子どもが将来、日常生活や社会生活を円滑に営めるようにするために行うものであり、具体的な本人支援において、障がいを持つ子どもの発達の側面から、「健康・生活」「運動・感覚」「認知・行動」「言語・コミュニケーション」「人間関係・社会性」の5領域からなります。

※保育の5領域とは近いものがありますが異なります。

株式会社スキップウィズエブリワンの運営します児童発達支援・放課後等デイサービス事業所ウィズしもつまでは、それらを踏まえ以下の発達支援5領域を取り入れた活動プログラムを実施致します。

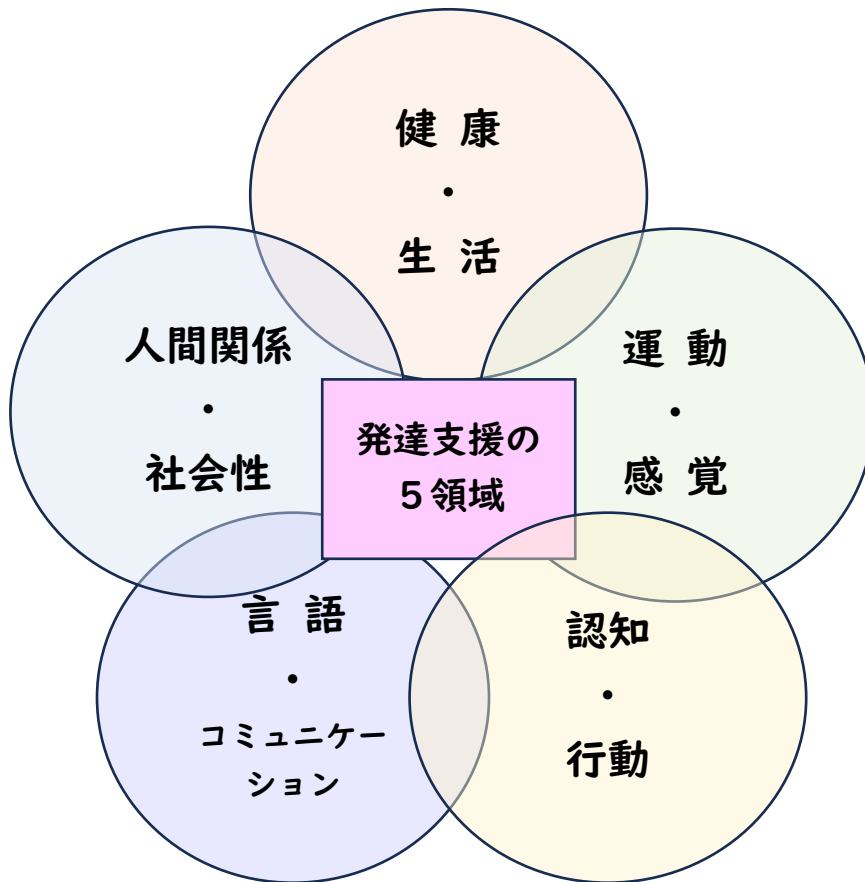
①健康・生活…健康状態の維持・改善、生活のリズムや生活習慣の形成、基本的生活スキルの獲得

②運動・感覚…姿勢と運動・動作の向上、姿勢と運動・動作の補助的手段の活用、保有する感覚の総合的な活用

③認知・行動…認知の発達と行動の習得、空間・時間、数等の概念形成の習得、対象や外部環境の適切な認知と適切な行動の習得

④言語・コミュニケーション…言語の形成と活用、言語の受容及び表出、コミュニケーションの基礎的能力の向上、コミュニケーション手段の選択と活用、空間・時間、数等の概念形成の習得

⑤人間関係・社会性…他者との関わり（人間関係）の形成、自己の理解と行動の調整、仲間づくりと集団への参加



※発達支援5領域は、それぞれが独立しているということではなく、相互に関連したり重なっています。

◎ウィズしもつまの主な活動プログラム（あそび）の例

※①健康・生活、②運動・感覚、③認知・行動、④言語・コミュニケーション、⑤人間関係・社会性

あそび	主なねらい・目的	遊び方・配慮事項
<p>おやつ作り</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・様々な感触や匂い、味を経験する（②、③）</li> <li>・食への関心の幅を広げる（①、②、③）</li> <li>・料理を作る際のルールやマナーを知る（③、④、⑤）</li> <li>・様々な道具の正しい使い方を知る（②、⑤）</li> </ul>	<p>概ね毎月1週間程度はおやつ作りの週を設けております。</p> <p>出来る限り季節や文化等を感じやすく、お子様が食べやすいおやつを選択しております。お子様の成功体験の積み増しを大切にしながら、お子様の発達に合わせた作業やそれに伴う配慮をしていきながら、お子様に「出来た！」の体験が出来るよう提供しております。</p> <p>お子様の好みやアレルギー等に注意をし、場合によっては事前に保護者と相談しながら行います。</p>
<p>創作活動</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・季節や文化を感じる（①、③）</li> <li>・様々な感触に触れる（②、③）</li> <li>・手先を動かす（②、③）</li> <li>・様々な道具の正しい使い方を知る（②、⑤）</li> </ul>	<p>季節や文化を感じられる創作物を作ります。</p> <p>一つ一つの工程の際には、お子様の発達段階等に合わせ、使用する道具や提示する素材等を調整していきながら、お子様の成功体験を大切にしながら、「出来た！」の体験が出来るよう支援してまいります。</p>
<p>個別課題（塗り絵）</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・色彩感覚を養う（③）</li> <li>・集中力の向上（②）</li> <li>・運筆能力の向上（②、④）</li> </ul>	<p>お子様の好きなキャラクター等を通して、お子様にプリントを配布します。</p> <p>使用する道具もクレヨンや色鉛筆等お子様の発達やそれぞれのお子様が主体的に選択したもので行ってもらいます。</p>
<p>集団レク（ペットボトルボーリング）</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・目と手の協調性の向上（②）</li> <li>・数にふれる（③）</li> <li>・友だちと喜びを共有、勝負により負けた時の立ち振る舞いや気持ちの切り替え方を学ぶ（④、⑤）</li> <li>・友だちを応援する（④、⑤）</li> </ul>	<p>10本のペットボトルをボーリングのピンに見立ててボーリングを行います。</p> <p>ボールは安全性を考慮し、柔らかいボールを使用します。人数やお子様の発達等により、個人戦かチーム対抗戦にするのかを決めていきます。ボールを投げる位置も発達や障がい特性等によって配慮をしていきながら行います。</p> <p>節分の際に、鬼のイラストをペットボトルに貼って行い、鬼退治と称して提供する等の遊び方も行います。</p>
<p>集団レク（ボールプール）</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全身で触覚の刺激を与える（②）</li> <li>・全身の運動能力の向上（②）</li> <li>・色や形にふれる（③）</li> <li>・ボールプールの中でルールのある遊びをすることで、社会性や目をスムーズに動かす練習等を行う（②、④、⑤）</li> </ul>	<p>ボールを取る、つかむ、投げる、他にもかきわけて、かき集めて、飛び込んだり、もぐったりと様々な動作をお子様には全身で感じながら遊んでもらいます。</p> <p>お子様の発達によっては、宝探しや色分けゲーム等にして、遊びにルールを追加することによって、課題に合わせた遊び方を提供してまいります。</p>



### ○家族支援

送迎時のタイミングや事業所のLINEアプリを用いてご家族とコミュニケーションを図ります。ご家庭でのお困りごとにより、面談の機会や事業所の無料開放にて保護者の相談会や勉強会の実施も行う等、ご家族にとっても安心して利用できる居場所として提供をしております。



### ○移行支援

学校や保育園、幼稚園、子ども園等との連携を図っていきながら、お子さまが無理なく学校や園での生活も過ごしていけるよう支援しております。移行先とも連携を図りながら、お子さまが様々な場所へ移行していけるよう支援致します。



### ○地域支援・地域連携

学校や保育園、幼稚園、子ども園、他の福祉事業所等との連携を図っていきながら、お子さまが地域の中で生き生きと過ごしていけるよう支援していきます。課外活動等を通して様々な地域との交流の機会も提供しております。



### ○職員の質の向上

それぞれの職員のキャリアパスに合わせた研修や専門性を深めるための研修の受講の機会を提供しています。



### ○主な行事等

・4月…花見



・7、8月…プール遊び



・10月…ハロウィンパーティー



・クリスマス会

